



平成29年4月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年12月9日

上場会社名 株式会社菊池製作所 上場取引所 東
 コード番号 3444 URL <http://www.kikuchiseisakusho.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 菊池 功
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 岸田 俊邦 (TEL) 042(651)6093
 四半期報告書提出予定日 平成28年12月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年4月期第2四半期の連結業績(平成28年5月1日~平成28年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年4月期第2四半期	2,289	△17.8	△636	—	△590	—	△377	—
28年4月期第2四半期	2,786	4.4	△362	—	△396	—	△164	—

(注) 包括利益 29年4月期第2四半期 △474百万円(—%) 28年4月期第2四半期 △209百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年4月期第2四半期	△30.63	—
28年4月期第2四半期	△13.55	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年4月期第2四半期	9,036	6,751	71.7
28年4月期	9,916	7,311	70.6

(参考) 自己資本 29年4月期第2四半期 6,477百万円 28年4月期 7,003百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年4月期	—	0.00	—	7.00	7.00
29年4月期	—	0.00	—	—	—
29年4月期(予想)	—	—	—	7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年4月期の連結業績予想(平成28年5月1日~平成29年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,920	0.0	△469	—	△436	—	62	—	5.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 -社(社名) 、除外 -社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年4月期2Q	12,337,700株	28年4月期	12,337,700株
② 期末自己株式数	29年4月期2Q	312株	28年4月期	312株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年4月期2Q	12,337,388株	28年4月期2Q	12,158,290株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点においては、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表の四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社は、平成28年12月16日(金)にアナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、開催後速やかにホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、消費マインドに足踏みが見られるものの、経済金融対策によって、緩やかな回復傾向が続きました。その一方で、海外では、中国経済の成長力鈍化をはじめとする新興国経済の成長鈍化への懸念が続いており、引続き不透明な状況が続いております。

このような環境の中、当社グループ製品が属する情報通信機器、精密電子機器業界におきましては、熾烈な競争状態や為替相場の不安定性等の要因により、その業績に確固たる見通しは持ち得ない状態にあります。当社グループは、これらのメーカーを顧客として、新規開発の試作品製造や製品の量産製造を推進しており、自社一括一貫体制による、プロダクトデザイン、機構設計、金型製作、成形、加工にわたる製造工程と、「匠の技」と先端設備の融合による技術力をベースに、事業活動を展開しております。取引先の要求を満たしうる技術水準、品質、納期に対し、より一層の対応力を涵養することにより、メーカーからの信頼性を確保し、競合他社との差別化を徹底する事業戦略を遂行しております。

このような状況のもと、当社グループの売上高及び受注の状況は、携帯電話、デジタルカメラ等の情報通信機器、精密電子機器メーカー、並びに複写機、プリンタ等の事務機器メーカーの研究開発及び生産の状況等厳しい経営環境を受け、受注価格についても競争が厳しさを増し、新規開発試作品製造、金型製造、量産品製造全般で低水準での推移となりました。一方、当社グループの独自製品であるマッスルスーツの拡販に注力するとともに、中長期的な当社事業の成長に資するための研究開発活動として、マッスルスーツ、メタルマイクロポンプ、ドローン、災害対応ロボット等をはじめとした介護・医療分野及びロボット分野における技術の研鑽に積極的に取り組んでおります。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高2,289百万円(前年同四半期比17.8%減)となり、利益面につきましては、売上総利益は86百万円(同73.8%減)、営業損失は636百万円(前年同四半期は営業損失362百万円)となりました。以下、受取補償金、スクラップ売却収入、受取配当金等の営業外収益85百万円(同184.3%増)を加算し、二本松工場遊休賃借費用、持分法による投資損失、シンジケートローン手数料及び支払利息等の営業外費用39百万円(同39.0%減)を減じた結果として、経常損失は590百万円(前年同四半期は経常損失396百万円)となりました。

さらに、特別損失を減算し、これに税金費用を計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純損失は377百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失164百万円)となりました。

なお、第1四半期連結会計期間より、当社の報告セグメントを単一セグメントに変更したため、セグメント別の記載を省略しております。

参考：製品別売上高

(単位：千円、%)

項目	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年5月1日 至 平成27年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年5月1日 至 平成28年10月31日)	増減率
試作・金型	1,730,278	1,291,054	△25.4
量産	954,490	850,158	△10.9
ロボット・装置等	101,065	148,435	46.9
その他	479	295	△38.5
合計	2,786,314	2,289,943	△17.8

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産に関する事項

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、9,036百万円となり、前連結会計年度末比879百万円の減少(前連結会計年度末比8.9%減)となりました。うち、流動資産は、5,055百万円となり、前連結会計年度末比961百万円の減少(同16.0%減)となりました。これは、現金及び預金が722百万円減少(同24.3%減)、受取手形及び売掛金が292百万円減少(同18.6%減)したことが主因となっております。固定資産は3,979百万円となり、前連結会計年度末比82百万円の増加(同2.1%増)となりました。

負債合計は、2,285百万円となり、前連結会計年度末比319百万円の減少(前連結会計年度末比12.3%減)となりました。うち、流動負債は、1,674百万円となり、前連結会計年度末比230百万円の減少(同12.1%減)となりました。これは、支払手形及び買掛金が254百万円減少(同30.3%減)したことが主因となっております。固定負債は、610百万円となり、前連結会計年度末比88百万円の減少(同12.7%減)となりました。

純資産は、6,751百万円となり、前連結会計年度末比560百万円の減少(同7.7%減)となりました。これは、利益剰余金が464百万円減少(同11.4%減)したことが主因となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、平成28年6月17日に公表いたしました平成29年4月期の業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日平成28年12月9日に公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、当社の業績は、事業環境の変化等、現在および将来において様々なリスクにさらされております。本業績予想に織り込まれていない事象が発生し、財務上重要な影響があると判断した場合には、適宜ご報告いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しています。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,973,136	2,250,208
受取手形及び売掛金	1,570,993	1,278,719
電子記録債権	208,920	194,819
商品及び製品	65,972	86,881
仕掛品	459,918	663,438
原材料及び貯蔵品	169,563	171,433
繰延税金資産	31,925	204,323
その他	575,235	238,580
貸倒引当金	△38,460	△32,748
流動資産合計	6,017,205	5,055,656
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,652,748	2,649,677
減価償却累計額	△1,214,147	△1,247,620
減損損失累計額	△341,395	△341,395
建物及び構築物(純額)	1,097,205	1,060,661
機械装置及び運搬具	3,022,993	2,977,521
減価償却累計額	△2,074,527	△2,126,513
減損損失累計額	△123,388	△123,388
機械装置及び運搬具(純額)	825,077	727,619
工具、器具及び備品	610,374	615,060
減価償却累計額	△476,093	△498,115
減損損失累計額	△11,172	△11,172
工具、器具及び備品(純額)	123,107	105,772
土地	609,902	606,643
リース資産	1,414	1,351
減価償却累計額	△1,202	△1,283
リース資産(純額)	212	67
建設仮勘定	2,884	168,959
有形固定資産合計	2,658,389	2,669,723
無形固定資産		
ソフトウェア	38,847	33,710
リース資産	5,848	1,950
その他	5,020	3,825
無形固定資産合計	49,715	39,485
投資その他の資産		
投資有価証券	1,052,208	1,148,240
繰延税金資産	5,053	6,418
その他	133,157	116,671
貸倒引当金	△648	△608
投資その他の資産合計	1,189,772	1,270,721
固定資産合計	3,897,877	3,979,930
繰延資産	1,064	929
資産合計	9,916,147	9,036,516

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年10月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	840,927	586,030
短期借入金	500,000	500,000
1年内返済予定の長期借入金	171,996	185,996
未払金	143,531	171,009
未払費用	139,836	79,064
未払法人税等	57,232	45,110
繰延税金負債	9,868	-
賞与引当金	-	54,574
預り金	23,216	22,581
その他	18,338	30,346
流動負債合計	1,904,947	1,674,713
固定負債		
長期借入金	266,672	202,674
役員退職慰労引当金	338,597	336,523
退職給付に係る負債	14,417	12,740
資産除去債務	8,423	8,486
繰延税金負債	66,305	45,192
その他	5,154	5,015
固定負債合計	699,571	610,632
負債合計	2,604,518	2,285,345
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,303,843	1,303,843
資本剰余金	1,444,429	1,444,429
利益剰余金	4,064,743	3,600,536
自己株式	△86	△86
株主資本合計	6,812,930	6,348,722
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	289,069	257,696
為替換算調整勘定	△99,794	△130,395
退職給付に係る調整累計額	1,169	1,071
その他の包括利益累計額合計	190,444	128,373
非支配株主持分	308,253	274,074
純資産合計	7,311,628	6,751,170
負債純資産合計	9,916,147	9,036,516

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年5月1日 至平成27年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年5月1日 至平成28年10月31日)
売上高	2,786,314	2,289,943
売上原価	2,457,419	2,203,689
売上総利益	328,895	86,253
販売費及び一般管理費	690,969	723,180
営業損失(△)	△362,074	△636,926
営業外収益		
受取利息	635	784
受取配当金	7,910	11,939
スクラップ売却収入	9,964	11,808
受取補償金	-	46,823
受取家賃	8,128	8,146
その他	3,487	6,162
営業外収益合計	30,126	85,664
営業外費用		
支払利息	3,086	3,661
為替差損	5,326	3,526
シンジケートローン手数料	6,484	6,399
二本松工場遊休賃借費用	21,768	21,768
株式交付費	8,971	-
持分法による投資損失	12,198	2,928
その他	6,741	1,099
営業外費用合計	64,578	39,384
経常損失(△)	△396,526	△590,647
特別利益		
投資有価証券売却益	40,909	-
持分変動利益	71,456	-
特別利益合計	112,365	-
特別損失		
固定資産除却損	-	21
特別損失合計	-	21
税金等調整前四半期純損失(△)	△284,161	△590,668
法人税、住民税及び事業税	8,712	9,764
法人税等調整額	△107,613	△188,408
法人税等合計	△98,900	△178,644
四半期純損失(△)	△185,260	△412,024
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△20,534	△34,178
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△164,726	△377,845

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年5月1日 至平成27年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年5月1日 至平成28年10月31日)
四半期純損失(△)	△185,260	△412,024
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△25,356	△31,372
為替換算調整勘定	1,691	△30,600
退職給付に係る調整額	△201	△97
その他の包括利益合計	△23,865	△62,071
四半期包括利益	△209,126	△474,095
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△188,592	△439,916
非支配株主に係る四半期包括利益	△20,534	△34,178

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年5月1日 至平成27年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年5月1日 至平成28年10月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△284,161	△590,668
減価償却費	165,180	168,503
貸倒引当金の増減額(△は減少)	4,479	△5,494
賞与引当金の増減額(△は減少)	△18,563	54,574
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	326	△1,016
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	3,016	△2,073
受取利息及び受取配当金	△8,546	△12,724
支払利息	3,086	3,661
持分法による投資損益(△は益)	12,198	2,928
シンジケートローン手数料	6,484	6,399
有形固定資産除却損	-	21
投資有価証券売却損益(△は益)	△40,909	-
持分変動損益(△は益)	△71,456	-
売上債権の増減額(△は増加)	167,139	296,737
たな卸資産の増減額(△は増加)	△84,874	△228,834
仕入債務の増減額(△は減少)	146,571	△286,235
その他	42,068	283,405
小計	42,041	△310,814
利息及び配当金の受取額	7,203	10,182
利息の支払額	△2,773	△3,618
法人税等の還付額	-	55,662
法人税等の支払額	△88,899	△8,591
営業活動によるキャッシュ・フロー	△42,428	△257,178
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△90,352	△90,000
定期預金の払戻による収入	90,000	90,000
有形固定資産の取得による支出	△172,165	△164,738
無形固定資産の取得による支出	△4,713	△249
投資有価証券の取得による支出	△213,533	△140,237
投資有価証券の売却による収入	70,000	-
関係会社株式の取得による支出	-	△3,450
その他	-	22
投資活動によるキャッシュ・フロー	△320,765	△308,652
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	-	50,000
長期借入金の返済による支出	△59,980	△99,998
リース債務の返済による支出	-	△3,899
新株予約権の行使による株式の発行による収入	1,494,314	-
配当金の支払額	△79,277	△86,361
非支配株主からの払込みによる収入	587,500	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,942,556	△140,258
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,723	△16,028
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,583,086	△722,118
現金及び現金同等物の期首残高	1,946,675	2,715,498
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,529,762	1,993,371

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成27年5月1日 至 平成27年10月31日)

「II 当第2四半期連結累計期間(報告セグメントの変更等に関する事項)」に記載のとおりであります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成28年5月1日 至 平成28年10月31日)

当社は、「金属製品加工事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(報告セグメントの変更等に関する事項)

当社の報告セグメントは、従来受注形態により「試作・金型事業」と「量産事業」ならびに「ガンマカメラ事業」、「その他」に区分しておりましたが、第1四半期会計期間より「金属製品加工事業」の単一セグメントに変更しております。

この変更は、小ロット量産や自社製品の開発・製造が増加しており、全体を金属製品加工の一体的な事業と捉え、経営資源の配分及び事業の評価を行っていくことが適切であると判断したことによるものであります。

この変更により、前第2四半期連結累計期間及び当第2四半期連結累計期間のセグメント情報の記載を省略しております。